様式4：地区連絡会議報告書

○「遊休農地解消手段に向けて！」

（京都府与謝野町野田川地区連絡会議）（第2回）

担い手への農地利用の集積・集約化	遊休農地の発生防止・解消	新規参入の促進	その他（農業委員会の体制強化等）

1　活動の日時や時期、場所等

○　日時（時期）：	平成31年2月27日　13：30～15：30
○　場　　所：	与謝野町役場加悦庁舎
○　出　席　者：	農業委員3人、最適化推進委員3人 農業委員会事務局2名
○　報　告　者：	泉　　良　悟　　農業会議現地推進役

2　地区の特徴、状況、課題

○与謝野町の中部に位置し、平地農業地域で僅かながら一部中山間地域を包括する地域である。

○町内で水稲を中心とした農業地域である。

3　課題解決に向けた活動（農地利用の最適化推進の取組と工夫）

○農地利用状況調査・意向調査の結果について協議がされた。

○丹後鉄道付近の農地が遊休化しており担い手もいない。また、農業用機械も搬入出来ない。

○野田川の幾地地区は区域外からの担い手を求めている。

○山際はB判定するしかないと考える。

○非農地判定は事前に農業委員が現地を見て、地域と協議し、事務局も判定に関与する形が良いのでは

○2階建て方式の集落営農組織の検討をお願いした。

4　活動結果

○　情報・意見交換	2	時間
○　担い手への集積		a　増加
○　遊休農地面積		a　解消
○　新規就農者		人　支援